

三三情報



自衛官を募集

試験日 ①5月14日(日)②6月3日(土)③6月25日(日)④7月22日(土) 試験会場 ①③は陸上自衛隊相馬原駐屯地②④は陸上自衛隊新町駐屯地 対象 昭和55年4月2日〜63年4月1日生まれの男性 申し込み 各試験日の前日までに自衛隊前橋募集案内所(城東町二丁目) ☎233-8960へ 直接

日本理学療法学会大会

日時 ①5月26日(金)午後5時15分〜6時45分 ②5月27日(土)午後2時〜4時 会場 グリインドーム前橋 対象 一般、先着各千人 内容 ①はシンポジウム「変性性膝関節症の最新線」九州労災病院院長・鳥巢岳彦さん②は公開講座「地域でいきいき生活するために」元NHK解説員・村田幸子さん。内容など詳しくは同大会公式ホームページ http://www.jpata1ongress.comをご覧ください 申し込み 当日会場へ 直接 問い合わせ 県立心臓血管センター ☎269-7455

「看護の日」記念イベント

日時 5月14日(日)午前10時〜午後4時 会場 県庁 内容 看護についての各種相談、看護体験コーナー、看護写真展、バザーなど 問い合わせ 県医師会 ☎226-253

市民健康フォーラム

日時 5月20日(土)午前11時〜午後4時 会場 県公社総合ビル(大渡町一丁目) 対象 一般、先着三百人 内容 糖尿病との付き合い方の講演、健康・栄養相談など 申し込み 当日会場へ直接 問い合わせ 前橋赤十字病院 ☎224-4585

おもちの病院

日時 ①5月14日(日)②5月21日(日)、午前10時〜正午 会場 ①は南橋公民館②は総合福祉会館(日吉町二丁目) 問い合わせ 市民活動支援センター ☎232-3848

市民献血

5月11日(木) 午前10時〜午後5時30分、前橋ハートランド(南町三丁目)

休日の水道局指定工事業者

5月14日(日) 下川設備工業(方丸町) ☎265-0228、杉山設備(鼻毛石町) ☎283-4272 5月21日(日) シモダ設備工業(天川大島町三丁目) ☎261-0578、スペースイン田村電機(馬場町) ☎283-4463

3月の交通事故

()内は前年同期 件数 四四六件(三九九件) 累計 一九七件(一一一件) 死者 〇人(〇人) 累計 二人(三人) 傷者 五六九人(五一四人) 累計 一四八六人(一三六五人)

健康



教室に参加して生活習慣見直し

前橋保健センターなどで次の三つの教室を開催します。正しい生活習慣を身に付けるため、自分に合った食事や運動を学びませんか。 ①はっぴい健康クッキング 日時 ①6月1日・15日(木)②6月2日(金)③6月8日(木)④6月14日(日) ⑤6月17日(木)の木金曜九回、午前9時30分〜正午 会場 前橋保健センター 対象 六十五歳以上で運動制限がない人、先着三十人 内容 運動の話と実践参加費 千八百九十円 申し込み 5月25日(木)までに同センター ☎223-8844へ

高齢者のための筋力トレーニング教室

日時 6月2日(金)〜8月17日(木)の木金曜九回、午前9時30分〜正午 会場 前橋保健センター 対象 六十五歳以上で運動制限がない人、先着三十人 内容 運動の話と実践参加費 千八百九十円 申し込み 5月25日(木)までに同センター ☎223-8844へ



ヘルシーメニューに挑戦

あなたがいっしょ 題字・石井 美帆 中央小4年

□三千元 ②下細井町・片桐勉さんから。 □ぞうきん十枚、鉛筆五十本、えもん掛け十五本 ③公田町・町田一江さんから。 □プルタブ五キログラム ④太陽堂から。 ○：以上の五件は社会福祉のために。 □車いす二台 ④中学生徒会から総合福祉会館へ。

貧血教室

日時 6月6日(火)午後1時30分〜4時 会場 前橋保健センター 対象 一般、先着二十人 内容 保健師・栄養士の話と試食 申し込み 5月30日(火)までに同センター ☎23-8844へ

健康のしおりに項目を追加します

本紙4月1日号と合わせて配布しました「健康のしおり」の、20ページにある田所医院(二之宮町)でも、「麻しん風しん混合」予防接種も受けることができます。 ○：問い合わせは勢多郡医師会 ☎232-6306へ。

健康テレホンサービス

健康テレホンサービスの原稿検索と健康相談がインターネットでも利用できます。アドレスは http://www.rajin.com/kenko/ です。 月曜 伝染性紅斑・りんご病 火曜 ブラッシングの習慣 水曜 電動歯ブラシ 木曜 高血圧と薬 金曜 紫外線の恐怖 土日曜 妊娠と喫煙 直接相談タイム 医師が直接相談。5月11日(木)整形外科と外科・19日(金)(歯科)、午後7時30分〜9時

「みぞうば」

みぞうばは、伝染性のウイルスによる感染症です。プールでビート板や浮き輪などを共用することで伝染すると言われています。 特にかさかさの肌、アトピー性皮膚炎の子どもにも多く見られます。好発年齢は幼児から小学生低学年までに多い病気ですが、まれに成人でも発症します。 直径一センチから数センチ、表面は平らなブツブツですが、

少し大きくなると中央が陥没して見え、ピンセットでつまむと乳白色の内容物が出ます。自然に治ってしまうこともありますが、完治に数カ月かかるため、その間に感染源となつて拡大感染してしまうことから、早めに取っつけてしましましょう。 最も一般的で簡単な治療は、リングピンセットなどでつまみとる方法です。また、液体窒素による凍結療法も行われ



ていますが、痛みが伴う点が問題です。 そのほかに、外用剤で炎症を起こさせたり、皮膚を腐食させ除去する方法もありますが、アレルギーなどの問題や取り扱いに注意が必要です。 専門医の管理のもとで施術しましょう。 前橋市医師会 工藤隆弘

Table with 3 columns: Date (5月14日, 5月21日, 5月28日) and various medical facilities like 大川小児科医院, 高橋医院, 神辺小児科, etc.

Table with 3 columns: Facility Name (e.g., 日曜・祝日は市薬剤師会会営業局), Address, and Phone Number.